

令和3年度学力検査（A日程・B日程）出題の方針

1 全体の方針

中学校学習指導要領にそって、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、学習や実生活の場面において、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の力をみるものとする。

出題に当たっては、次のとおりとする。

- (1) 中学校における日常の学習活動に基づく内容とする。
- (2) 各教科においては、一部の領域に偏らないようにする。
- (3) 検査時間等を考慮し、適切な問題量とする。

2 各教科の内容

(1) 国語

「書くこと」、「読むこと」の2領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、基礎的・基本的な知識・理解と、国語を適切に表現し正確に理解する力をみるものとする。

漢字の出題については、学習指導要領に基づき、教科書に掲載されているものを範囲とする。

(2) 社会

「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、社会的事象について、基礎的・基本的な知識・理解と、資料などに基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や適切に表現する力をみるものとする。

(3) 数学

「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域について、基礎的な概念や原理・法則の理解と、それらに基づき、数学的に考察したり、表現したり、処理したりする力をみるものとする。

(4) 理科

「第1分野」、「第2分野」から均等に出題し、自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識・理解と、観察・実験などを通して科学的に考察したり、適切に表現したりする力をみるものとする。

(5) 英語

「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3領域について、基礎的・基本的な知識・理解と、英語によるコミュニケーション能力をみるものとする。

学力検査で使用する語彙については、学習指導要領に基づき、教科書に掲載されているもの及び『高知これ単』に掲載されているものを含めた基本的なものとする。また、B日程の出題については、「聞くこと」の領域を除く。

※『高知これ単』とは、学習指導要領に基づき、高知県教育委員会が作成した、中学校3年間で身に付けるべき1200語の語彙を収めた単語集。

3 出題に当たって特に留意する点

今後求められる学力として、実生活等において基礎的な知識・技能を活用して課題解決を図る力が重視されていることを踏まえて、出題に当たっては特に次の点に留意することとする。

- (1) 各教科の特質に応じて、知識・技能の定着をみるとともに、思考力・判断力・表現力等をより重視した出題とする。
- (2) 根拠に基づいて論理的に思考する力や、課題解決のために構想を立て実践する力などをみるために、学習における思考過程や実生活における課題解決の場면을想定した問いを設定する。
- (3) 各教科において、必要に応じて事象や概念を的確に説明する力や、与えられた条件のもとで自己の考えを形成し他者に分かりやすく伝える力などをみるために、記述式の問題を一定割合で出題する。